

地域間幹線系統確保維持計画(平成30年度～平成32年度)(案) <函館市関係分>

【地域間幹線系統 17系統(平成28年度は17系統)】

番号	系統名	起点	経由地	終点	キロ程 (km)	平均乗 車密度	運行 回数	輸送量 (人)	競合区間 のキロ程 (km)	計画実車 走行キロ程	経常費用 見込額 (円)	キロ当たり 経常収益	経常収益 見込額 (円)	差額 (円)	補助対象経 費上限 (9/20) (円)	競合区間の カット額 (円)	競合カット後 の合計額 (円)	みなし運行 回数査定額 (円)	補助対象 経費 (千円)	備考
					イ	ロ	ハ	ロ×ハ=ニ	ホ		へ		ト	へ-ト=チ						
第1号	大野線②	バスセンター	122 五稜郭	新函館 北斗駅	25.0	5.6	4.6	25.7		84,975.2	23,815,999	212.86	18,087,821	5,728,178	5,728,178	0	5,728,178	0	5,728	
第2号	大野線④	バスセンター	亀田支所前	新函館 北斗駅	24.4	5.8	6.6	38.2		118,022.8	33,078,250	231.27	27,295,132	5,783,118	5,783,118	0	5,783,118	0	5,783	
第3号	函館鹿部線①	バスセンター	103 七飯	新函館 北斗駅	24.3	5.2	6.3	32.7	16.2	112,071.6	31,410,307	209.50	23,479,000	7,931,307	7,931,307	5,287,538	2,643,769	0	2,643	
第4号	函館鹿部線②	バスセンター	七飯	鹿部 出張所	57.0	5.7	3.0	17.1		124,146.0	34,794,399	170.07	21,113,510	13,680,889	13,680,889	0	13,680,889	0	13,680	
第5号	函館長万部線	バスセンター	森 八雲	長万部 ターミナル	111.8	6.6	3.9	25.7		325,449.8	91,213,815	150.93	49,120,138	42,093,677	41,046,216	0	41,046,216	0	41,046	
第6号	七飯大野循環線	バスセンター	七飯大野循 環線	バスセンター	43.0	5.1	7.6	38.7		119,454.0	33,479,372	169.01	20,188,920	13,290,452	13,290,452	0	13,290,452	0	13,290	
第7号	下海岸線①	バスセンター	谷地町	釜谷	23.2	5.0	3.0	15.0		45,147.2	12,653,405	219.53	9,911,164	2,742,241	2,742,241	0	2,742,241	0	2,742	
第8号	下海岸線②	バスセンター	五稜郭	恵山御崎	53.6	5.1	7.9	40.2		305,529.2	85,630,668	202.48	61,863,552	23,767,116	23,767,116	0	23,767,116	0	23,767	
第9号	旭岡団地線	昭和ターミ ナル	112 東港	旭岡 中学校	21.6	6.7	8.6	57.6	12.0	136,965.6	38,387,348	225.56	30,893,960	7,493,388	7,493,388	4,162,993	3,330,395	0	3,330	
第10号	川汲鹿部線①	バスセンター	川汲	榎法華 支所前	54.1	5.1	3.0	15.3		117,829.8	33,024,158	200.04	23,570,673	9,453,485	9,453,485	0	9,453,485	0	9,453	
第11号	川汲鹿部線②	バスセンター	川汲	鹿部 出張所	55.7	5.3	3.0	15.9		121,481.7	34,047,676	211.20	25,656,935	8,390,741	8,390,741	0	8,390,741	0	8,390	
第12号	下海岸線③	バスセンター	谷地町	下原木	35.2	5.1	3.5	17.8		76,912.0	21,556,126	209.49	16,112,294	5,443,832	5,443,832	0	5,443,832	0	5,443	
第13号	鹿部海岸線	鹿部 出張所	川汲	古部	36.8	5.2	3.1	16.1		84,897.6	23,794,250	232.20	19,713,222	4,081,028	4,081,028	0	4,081,028	0	4,081	
第14号	函館江差線	バスセンター	東港 厚沢部	江差 ターミナル	85.3	5.8	4.9	28.4		310,492.0	87,021,592	187.72	58,285,558	28,736,034	28,736,034	0	28,736,034	0	28,736	
第15号	上磯線	バスセンター	七重浜	茂辺地	20.6	5.0	3.0	15.0	14.0	44,990.4	12,609,459	212.69	9,569,008	3,040,451	3,040,451	2,066,325	974,126	0	974	
第16号	函館 木古内線②	バスセンター	函病 五稜郭	小谷石	65.5	6.1	3.0	18.3		142,324.0	39,889,147	157.03	22,349,137	17,540,010	17,540,010	0	17,540,010	0	17,540	
第17号	函館松前線 (松前号)	松前 出張所	知内 出張所	バスセンター	106.1	6.8	3.0	20.4		231,722.4	64,944,837	170.88	39,596,723	25,348,114	25,348,114	0	25,348,114	0	25,348	
合 計										2,502,411.3	701,350,808	—	476,806,747	224,544,061	223,496,600	11,516,856	211,979,744	0	211,974	

※ 4「函館鹿部線②」、7「下海岸線①」、10「川汲鹿部線①」、11「川汲鹿部線②」、12「下海岸線③」、15「上磯線」、16「函館木古内線②」、17「函館松前線(松前号)」の平均運行回数は平日1日当たりの運行回数

生活交通路線確保維持計画(平成29年度～平成31年度)(案) <函館市関係分>

【広域生活交通路線 7系統 (平成28年度は広域生活交通路線7系統)】

番号	路線名	起点	経由地	終点	キロ程 (km)	平均乗 車密度	運行 回数	輸送量 (人)	競合区間 のキロ程 (km)	実車走行 キロ程	経常費用 (千円)	経常収益 (千円)	差額 (千円)	補助対象 経費上限 (9/20) (千円)	競合区間の カット額 (千円)	競合カット後 の合計額 (千円)	みなし運行 回数査定額 (千円)	合計額 (千円)	備考
					イ	ロ	ハ	ロ×ハ= ニ	ホ		へ	ト	へート=チ						
第1号	鉄山蛾眉野線①	バスセンター	旭岡団地	蛾眉野 学校前	27.0	5.0	3.4	17.0	13.9	67,680.2	18,720	13,084	5,636	5,636	2,901	2,735	0	2,735	
第2号	鉄山蛾眉野線②	バスセンター	⑩ 旭岡団地	鉄山	21.0	5.0	2.7	13.5	13.9	41,874.0	11,582	8,226	3,356	3,356	2,221	1,135	0	1,135	H28.11.1減便 (平日1.0回、土日祝1.0回)
第3号	旭岡団地線	昭和 ターミナル	10-6 石川鍛冶	旭岡 中学校	20.7	5.0	5.3	26.5	14.3	80,957.7	22,392	14,407	7,985	7,985	5,516	2,469	0	2,469	
第4号	田家石川線	昭和 ターミナル	4 田家町	函館駅前	10.7	3.3	6.7	22.1		52,708.2	14,579	10,919	3,660	3,660	0	3,660	1,475	2,185	
第5号	中の橋線①	日吉 営業所	3 中の橋	サンフレ	10.3	4.1	2.9	11.8	7.3	22,369.2	6,187	4,474	1,713	1,713	1,214	499	155	344	
第6号	中の橋線②	東山見晴 台団地	3 中の橋	市役所前	12.1	5.0	2.6	13.0	7.3	23,449.8	6,486	5,201	1,285	1,285	775	510	0	510	
第7号	昭和船見線	昭和 営業所	1 市立函館 病院	船見町	13.5	5.0	6.8	34.0	12.0	67,527.0	18,677	16,750	1,927	1,927	1,712	215	0	215	
合 計										356,566.1	98,623	73,061	25,562	25,562	14,339	11,223	1,630	9,593	

生活交通路線確保維持計画(平成29年度～平成31年度)(案) <函館市関係分>

【函館市生活交通路線 10系統 (平成28年度は10系統)】

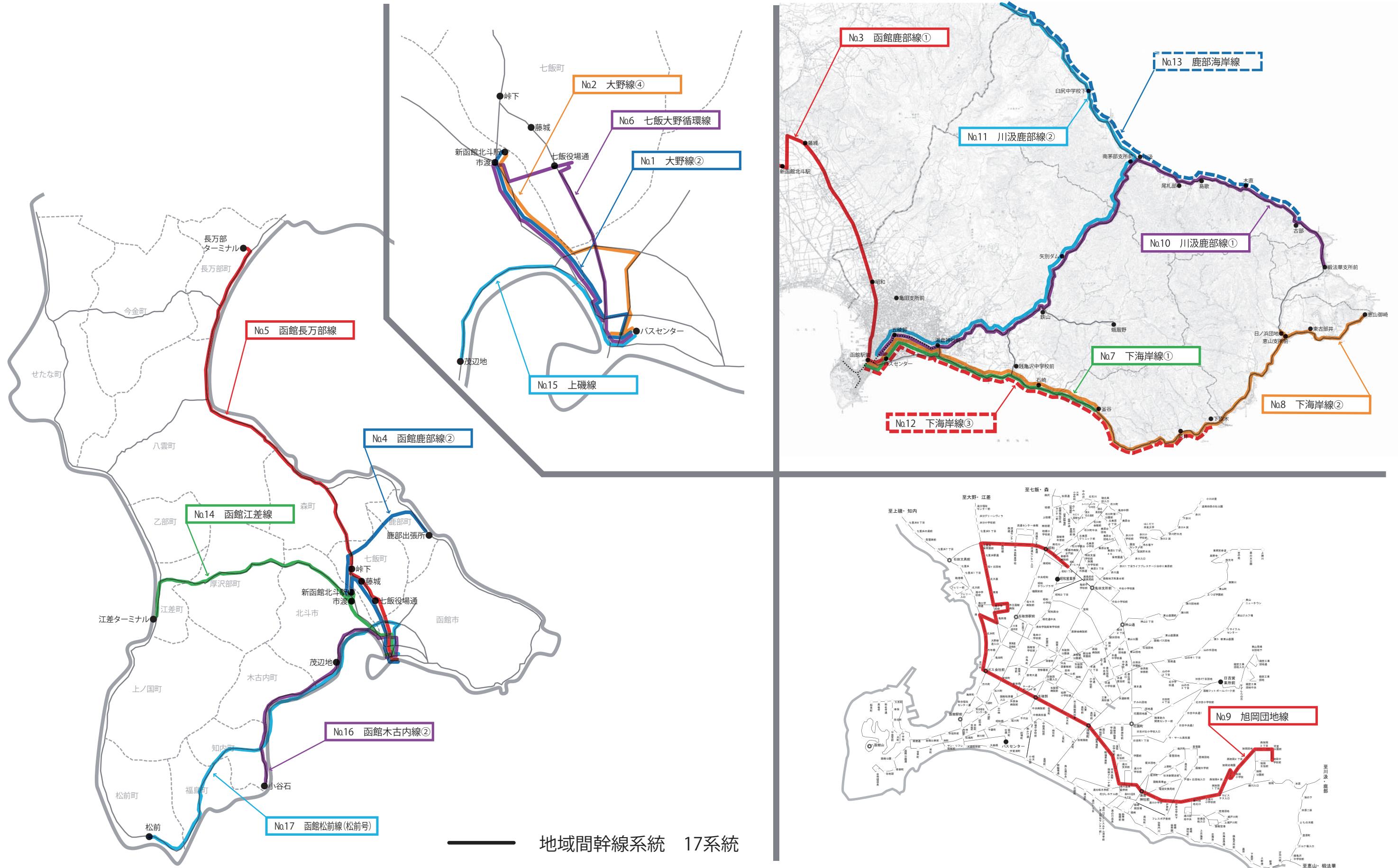
番号	路線名	起点	経由地	終点	キロ程 (km)	平均乗 車密度	運行回数	輸送量 (人)	経常欠損 (千円)	補助見込額 (千円)
					イ	ロ	ハ	ロ×ハ=ニ		
第1号	花園銭中線	昭和 ターミナル	花園町 湯団旭団	銭亀沢 中学校	19.7	5.0	1.1	5.5	1,322	1,322
第2号	旭岡団地線①	昭和 ターミナル	10-6 稜北鍛冶	旭岡 中学校	22.7	5.0	0.3	1.5	689	689
第3号	函館長万部線①	バスセンター	七飯	森出張所	46.1	5.8	0.4	2.3	1,755	1,755
第4号	函館長万部線②	バスセンター	七飯	森駅前	46.5	5.3	0.4	2.1	2,023	2,023
第5号	下海岸線②	日ノ浜 団地	海向山	楳法華 支所前	7.5	1.8	3.5	6.3	3,150	2,443
第6号	鹿部海岸線①	鹿部 出張所	臼尻 中学校	南茅部 支所前	21.5	5.4	0.6	3.2	171	171
第7号	鹿部海岸線②	南茅部 支所前	川汲	古部	15.7	2.3	0.9	2.0	1,688	1,414
第8号	花園下海岸線②	昭和 ターミナル	97流通 花園町	銭亀沢 中学校	18.2	5.0	0.7	3.5	505	505
第9号	下海岸線③	日ノ浜 団地		恵山御崎	6.3	0.8	0.9	0.7	1,045	567
第10号	旭岡団地線②	昭和 ターミナル	9 花園町	旭岡 中学校	14.4	5.0	0.8	4.0	373	373
合 計									12,721	11,262

平成29年度(平成28年10月～平成29年9月) 地域間幹線系統・広域生活交通路線・函館市生活交通路線(函館市に係る路線)の収支改善につながる取り組みについて

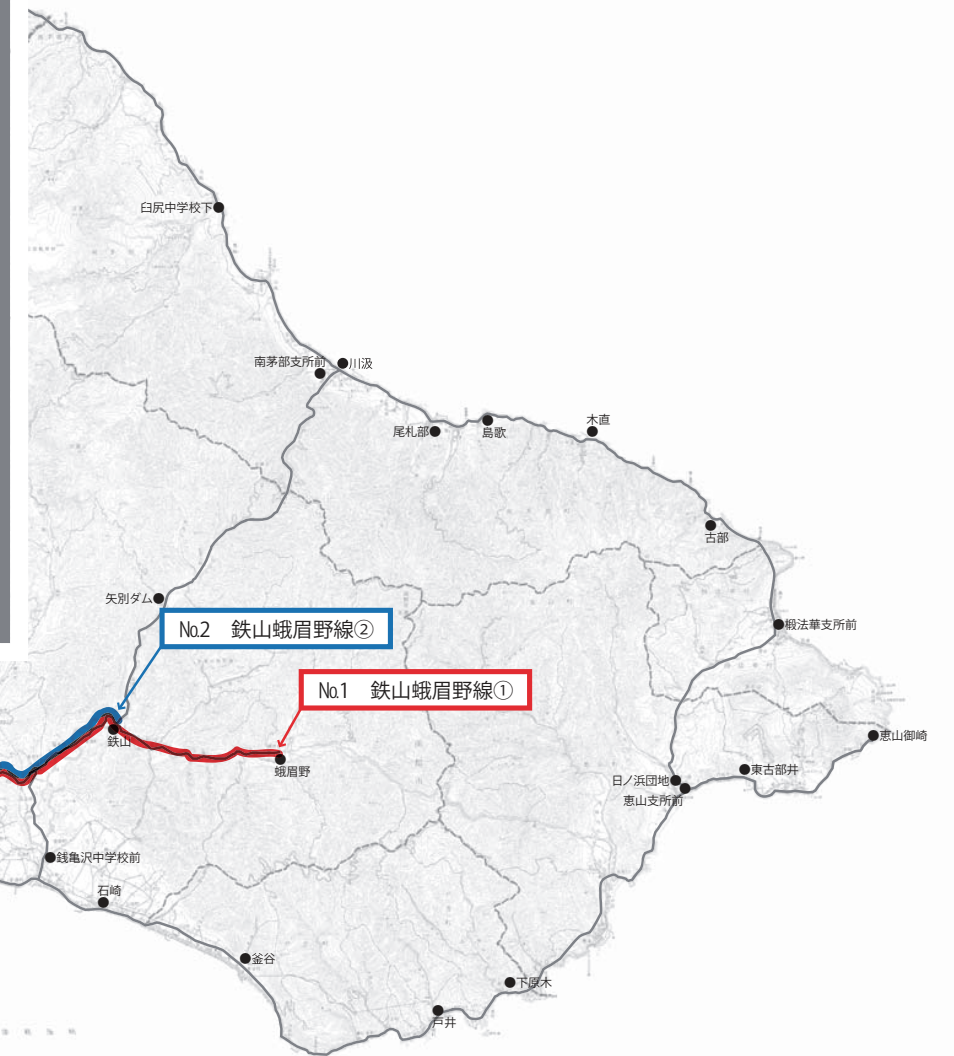
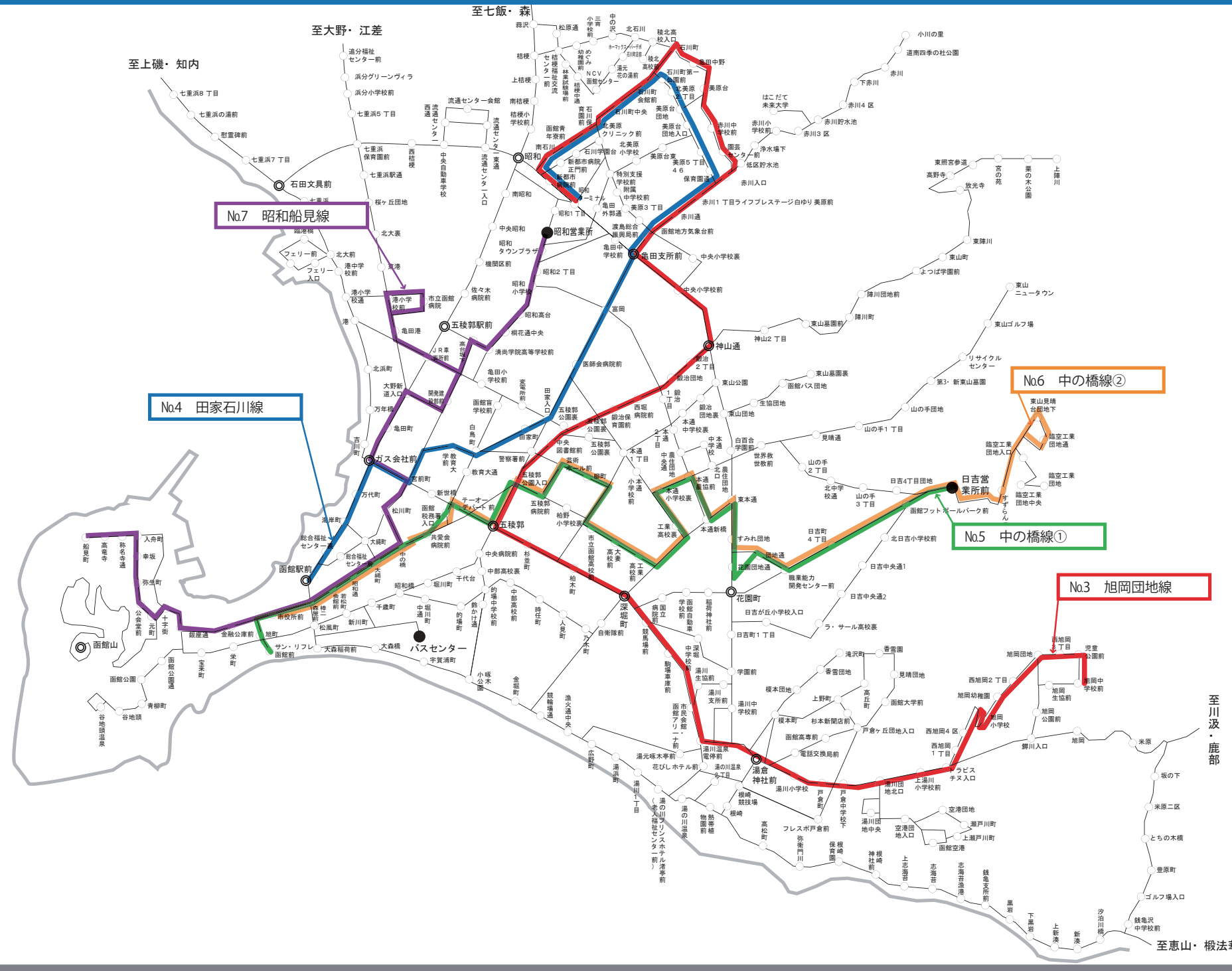
事業名	実施主体	備考	番号	項目	該当路線等	内容
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域間幹線系統) (広域生活交通路線) (函館市生活交通路線)	沿線の自治体 函館バス株式会社	平成28年 11月1日 ダイヤ改正	1	運行方法の改善 ・運行回数 ・時間帯	【地域間幹線系統】 第7号 下海岸線① 第8号 下海岸線② 第12号 下海岸線③ 【函館市生活交通路線】 第5号 下海岸線②	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間幹線系統 第7号 下海岸線①(バスセンター～谷地町～釜谷) 《平日祝4.0回》→《平日3.0回 土日祝2.0回》 平日1.0回の減便は、下海岸線②への振り替え(現在の戸井地区から、恵山地区まで延伸することで、高校生の通学利用の利便性向上を図った。土日祝の1.0回の減便は、利用実態から減便し、効率化を図った。) ・地域間幹線系統 第8号 下海岸線②(バスセンター～五稜郭～恵山御崎) 《平日祝7.5回》→《平日祝8.0回》 下海岸線①を、1.0回振り替えし、増便した。利用実態から0.5回減便し、効率化を図った。 ・地域間幹線系統 第12号 下海岸線③(バスセンター～谷地町～下原木) 《平日3.5回 土日祝2.5回》→《平日3.5回 土日祝2.0回》 利用実態から土日祝0.5回減便し、効率化を図った。 ・函館市生活交通路線 第5号 下海岸線②(日ノ浜団地～海向山～楯法華支所前) 《平日祝4.5回》→《平日祝3.5回》 地域間幹線系統 第8号 下海岸線②と接続。 減便して効率化を図るだけでなく、要望のあった新たな時間(従来なかった午前10時台に、恵山病院及び函館駅方面に行く時間帯の新設)を設定し、利便性向上も図った。
			2	運行方法の改善 ・運行回数	【広域生活交通路線】 第2号 鉄山蛾眉野線②	<ul style="list-style-type: none"> ・広域生活交通路線 第2号 鉄山蛾眉野線②(バスセンター～⑩旭岡団地～鉄山) 《平日4.0回 土日祝3.0回》→《平日3.0回 土日祝2.0回》 利用が少ないこと、他の対応系統にて主要な区間はカバーできることから、減便し効率化を図った。 なお、上記の減便により、対応系統である地域間幹線系統 第9号 旭岡団地線(昭和ターミナル～112東港～旭岡中学校)に利用者のシフトを図った。
			3	運行方法の改善 ・競合する系統の減便	【広域生活交通路線】 第3号 旭岡団地線	<ul style="list-style-type: none"> ・広域生活交通路線 第3号 旭岡団地線(昭和ターミナル～10-6石川鍛冶～旭岡中学校) 競合する他の系統(ループ)を減便し、当路線への利用者のシフトを図った。
			4	運行方法の改善 ・競合する系統の廃止	【広域生活交通路線】 第5号 中の橋線① 第6号 中の橋線②	<ul style="list-style-type: none"> ・広域生活交通路線 第5号 中の橋線①(日吉営業所～3中の橋～サンリフレ) ・広域生活交通路線 第6号 中の橋線②(東山見晴台団地～3中の橋～市役所前) 競合する他の系統(中の橋線)を廃止し、当路線への利用者のシフトを図った。
			5	運行方法の改善 ・運行回数	【函館市生活交通路線】 第8号 花園下海岸線②	<ul style="list-style-type: none"> ・函館市生活交通路線(昭和ターミナル～97流通花園町～銭亀沢中学校) 朝の通学時間帯に、20分間隔で2便運行している便について、1便で対応可能なため減便し、効率化を図った。

平成29年度(平成28年10月～平成29年9月) 地域間幹線系統・広域生活交通路線・函館市生活交通路線(函館市に係る路線)の収支改善につながる取り組みについて

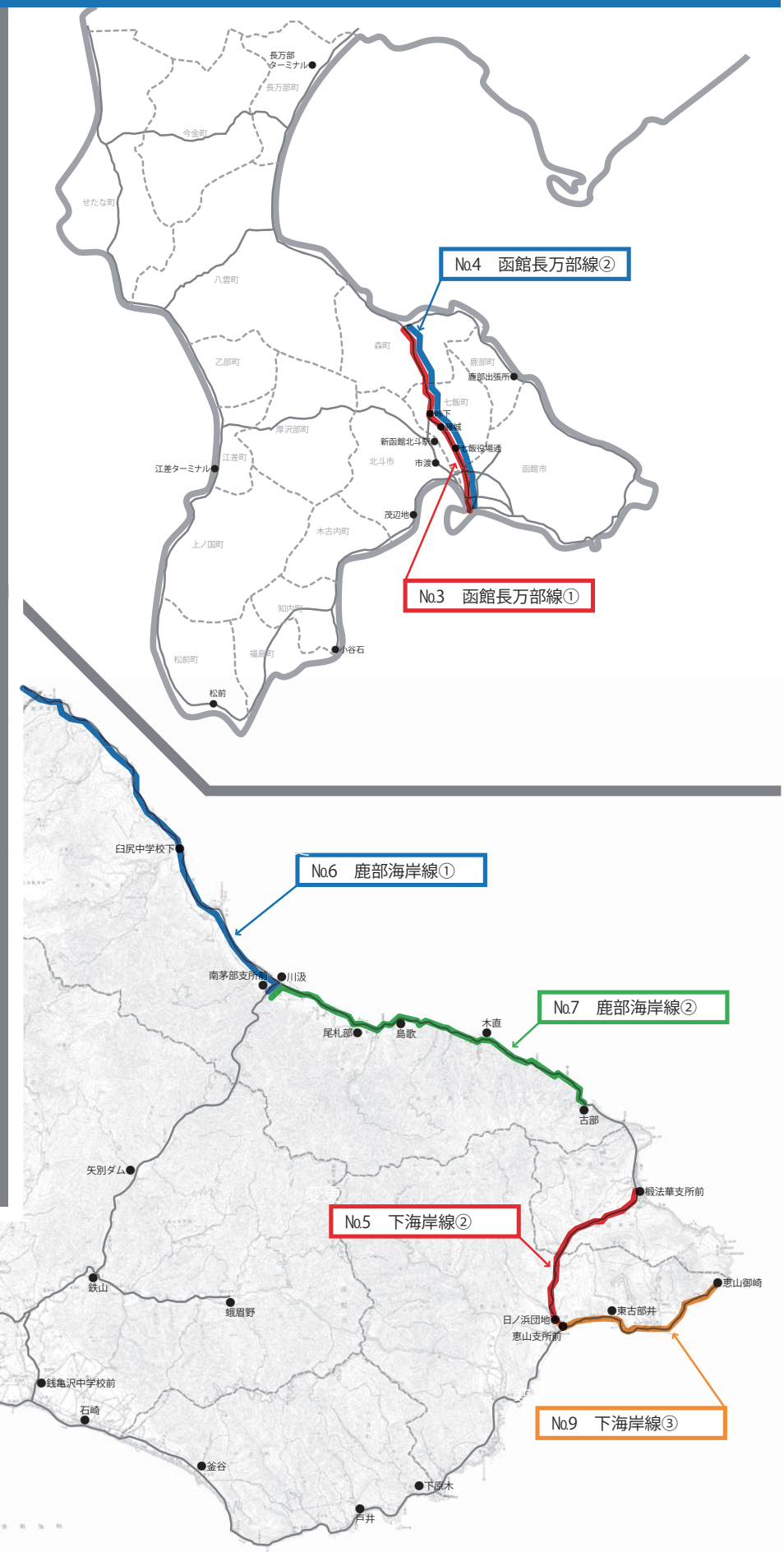
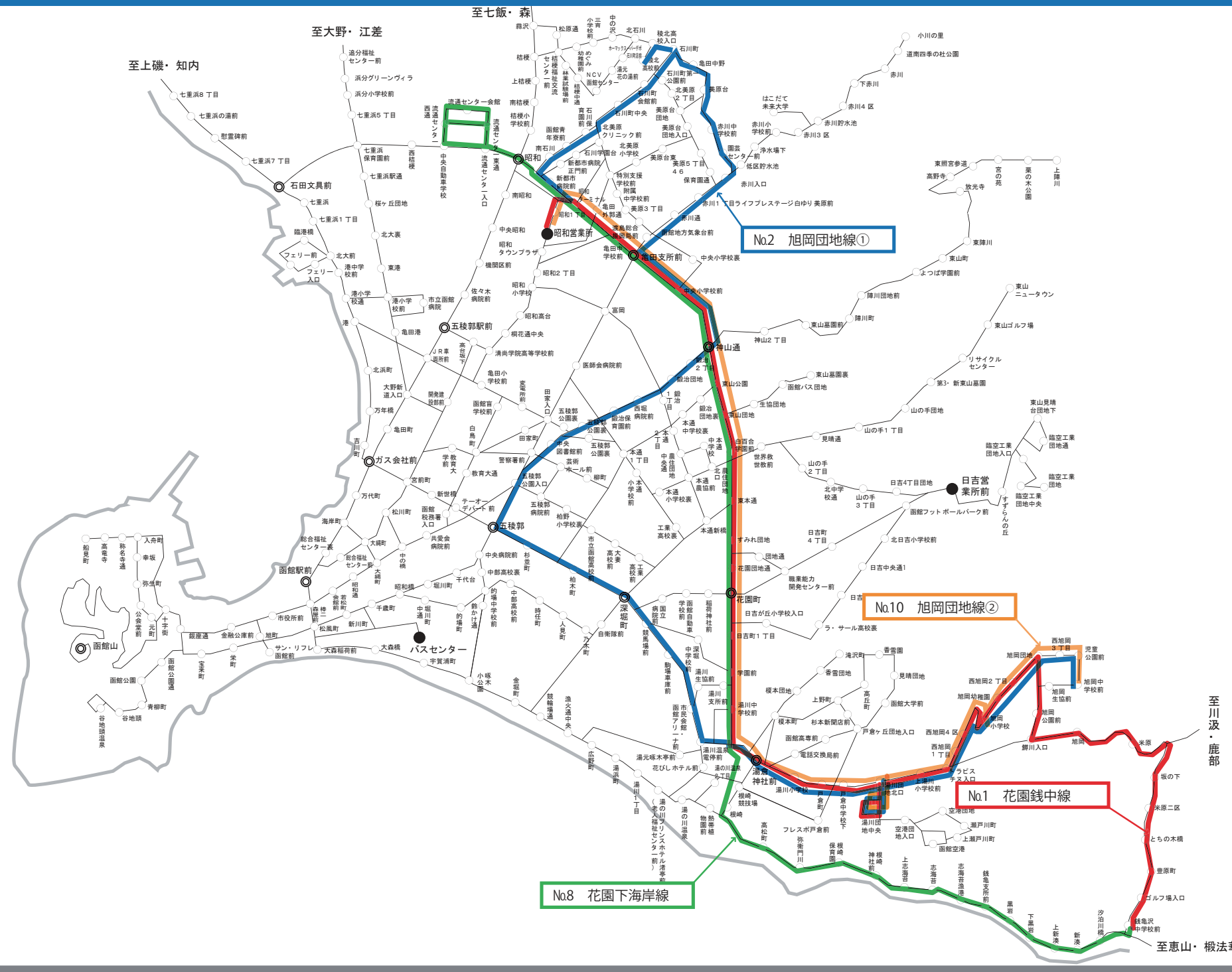
事業名	実施主体	備考	番号	項目	該当路線等	内容
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)(広域生活交通路線)(函館市生活交通路線)	沿線の自治体 函館バス株式会社	貨客混載	6	利用促進 ・路線バスを活用した少量貨物の運送	【地域間幹線系統】 第11号 川尻鹿部線②	①函館市内の自由市場から南茅部の飲食店へ有料で鮮魚を運送するサービスを実施している。
			7		【地域間幹線系統】 第14号 函館江差線 第17号 函館松前線(松前号)	①函館市内の血液センターから医療機関へ有料で血液を運送するサービスを実施している。
		8	利用促進 ・インターネットサイト等を活用した。路線バスの情報発信	函館バスの全路線	①ジョルダンや駅すばあと等のコンテンツプロバイダを利用し当社ホームページ上の情報だけでなく、乗換等も含めた情報を広くインターネット上で公開することにより利便性を高め利用促進を図っている。 ②現在地から目的地までのルート検索のほか、バスや市電などの乗り換え、所要時間、料金検索等が、5か国語に対応した函館市インフォメーションアプリ「函館NAVI」を制作し、地域住民だけでなく、国内外への観光客の利便性向上を図っている。 ③アジア向け観光ウェブサイト、悠悠北海道に当社の路線バスを情報発信することで日本国内だけでなく近年増加傾向にあるアジア人へ向けての利用促進を図っている。	
		9	利用促進 ・全国共通ICカードシステムの導入	函館バスの全路線	①函館市電と共に、全国共通交通系ICカードシステムを導入し、地域住民だけでなく、国内外への観光客の利便性向上を図っている。(平成29年3月25日からサービス開始) ・車体へのラッピング(市電1台、バス3台)、函館バスにて制作しているポケット時刻表・北海道新聞のタブロイド・青いポスト(フリーペーパー)・市政はこでて等での周知を図った。 ・北海道新幹線新函館開業対策推進機構主催のICカードフォーラムやメガドン・キホーテでのICカード乗車体験の実施や、H29.3/25～H29.4/30までの期間中、ICカードを1回以上利用したお客様の中から抽選で500名に、ポイント1,000円分をプレゼントする等のキャンペーン活動を実施し、利用促進を図った。	
		観光振興と路線バスの利用促進	10	利用促進 ・フリーバス	函館市に係る路線	①函館バスにて、函館市内の指定エリアで利用できるバス専用1日乗車券を販売している。 ※提示すると飲食店や観光施設等での特典が受けられる。 ②函館バス・函館市電と連携して、バス・市電1日・2日乗車券を販売している。 ※市電は全線。函館バスは、函館市内の指定エリア。提示すると飲食店や観光施設等での特典も受けられる。 ①・②について、従来から、エージェントとの船車券交換契約を結び、来函者への利用促進を図った他、新幹線アクロス列車である「はこだてライナー」や「道南いさりび鉄道」への車内広告の掲載・市民向けのイベント「エコフェスタ」で来場される方への特典を与える等、さまざまな取り組みを実施してきた。 平成29年度からの新たな取り組みとして、セブンイレブンが提供するチケットサービス「セブンチケット」で①・②の乗車券の引換券を販売し、インターネット利用者に対しても周知を図ることで利用促進を図った。 ③観光客向けの商品『はこだて旅するパスポート』函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・木古内町管内の路線バス・JR・いさりび鉄道・函館市電が2日間乗り放題及び津軽海峡フェリーが20%割引になるフェリー乗車券を発売し、観光客の生活路線バスへの利便性向上を図っている。なお、提示すると観光施設等の特典も受けられる。【北海道新幹線新駅協議会】
						④観光客向けの商品『江差・松前周遊フリーバス』左記の路線バスの3日間乗り放題、いさりび鉄道の木古内発五稜郭行き乗車券が960円より790円へ割引及びハートランドフェリー2等運賃20%割引になるフリー乗車券を発売し、観光客の生活路線バスへの利便性向上を図っている。なお、提示すると観光施設等での特典も受けられる。【新幹線木古内駅活用推進協議会】
		11	利用促進 ・マップ	函館市に係る路線	①函館バスが、観光客向けの『函館バスの乗り方』を掲載したマップを作成し、ホテルや施設に配布することで、観光客の生活路線バスの利用促進を図っている。 ②北海道新幹線新函館開業対策推進機構が公共交通情報を総合的に網羅したはこだて公共交通旅マップを作成し、①同様利用促進を図っている。(平成28年3月に発行済み) さらに、平成29年3月には、英語版も発行した。	
		その他	12	利用促進 ・住民理解、普及、PR 助成制度等	函館市に係る路線	①高齢者・障害者等の移動の利便性や安全性向上のため、国の補助制度を利用し、函館市、北斗市、七飯町、函館バスと協力して、ノンステップバスを導入し続けている。 ②函館バスが、函館市の交通料金助成制度(対象者:高齢者・障害者等)の町会への周知活動をしなが、路線に関するご意見やご要望を伺っている。
			13	利用促進 ・住民理解、普及、PR 助成制度等	函館市に係る路線	①2年に1回のペースで改定され全戸配布される「市民生活のしおり」が今年度発行され、その中に函館バス系統図及び函館バスの乗り方が掲載されている。 ②利用者の声を反映し、路線バスの行き先表示器をわかりやすく改善してきている。 ③函館バスが、商業施設・公共施設・病院等に自社で発行しているポケット時刻表の配布をしている。さらに、方面別のカラー時刻表を作成し、北海道新聞折り込み広告の形で配布することにより、利用者への周知を図っている。 ④毎年、函館市にて実施している市民ノーマイカーデーに、函館市企業局・函館バスにて協力の予定。(平成29年9月頃 実施予定) ⑤小・中学生を対象とした、夏休み・冬休み期間限定函館市内乗り放題定期券について、平成28年度はより利便性を高めるため、乗務員に提示するだけで函館市内の1乗車料金が小学生50円、中学生100円となる乗車券を配布し、実際の利用者数も増加した。
			14	利用促進 ・住民理解、普及、PR 助成制度等	【地域間幹線系統】 第5号 函館長万部線 【函館市生活交通路線】 第3号 函館長万部線① 第4号 函館長万部線②	・沿線の森町にて、高齢者・障害者に対して、タクシー及びバスの、交通料金助成を実施している。
	15		利用促進 ・住民理解、普及、PR 助成制度等	【地域間幹線系統】 第17号 函館松前線(松前号)	・函館市内のケースデンキと協力し、函館松前線(松前号)の利用者に対しては、ケースデンキの特割引券を配布するサービスを実施している。	
	16		削減・節約・効率化等	函館バスの全路線	・軽油価格が高騰していることから、函館バスで、『グリーン経営認証』を平成24年に取得し、更新している。 ※『グリーン経営認証』とは、環境改善努力を評価する制度で、国土交通省が、運送事業者に取得を推奨している。上記に取り組むことにより、環境改善だけでなく、燃費向上による経費削減のメリットもある。	



地域間幹線系統 17系統



— 広域生活交通路線 7系統



函館市生活交通路線 10系統